

平成26年度

関西国際空港の国際ハブ化の早期実現等を求める

要 望 書

泉州市・町関西国際空港推進協議会

平成27年1月20日

大阪府知事 松井 一郎 様

泉州市・町関西国際空港推進協議会
会 長 阪 口 伸 六

関西国際空港の国際ハブ化の早期実現等を求める要望書

平素は、当協議会の諸活動の推進に格段の御高配と御指導を賜り厚く御礼申し上げます。

関西国際空港は、2本の長距離滑走路を備え、かつ、完全24時間運用可能な国際ハブ空港としての機能を有しており、関西の国際物流拠点として、またアジア地域からの観光インバウンドの受入拠点としても、関西のみならず我が国の経済発展の面から重要な役割を担っております。

今後、泉州及び関西が、世界の人・モノ・情報の交流拠点として、国民の利便性向上や我が国の経済発展を導くためには、関西国際空港が国際ハブ空港としての機能を十分に発揮しうよう2期事業の完全供用を実現し、アジアそして世界のゲートウェイとして発展していくことが不可欠であります。

昨年9月に開港20年を迎えた関西国際空港は、2014年度上期において、国際線における外国人旅客数が日本人旅客数を初めて上回り過去最高になるとともに、4月に稼働したフェデックス北太平洋地区ハブによる国際的な物流拠点としてのプレゼンスも高まる中、国際ハブ空港としての機能の充実・強化に向け、新たなステージへと歩み始めています。また、今後、2020年の東京オリンピック・パラリンピックやそれに続く関西ワールドマスタースゲームズの開催に向け、オールジャパンとして訪日外国人の受入体制を整えていくためにも、主要都市及び地方空港とのネットワークを更に強化し、国際ハブ空港としてのポテンシャルを更に発揮することが必要であると考えております。

地元泉州9市4町におきましては、「地域と共存共栄する空港づくり」という関西国際空港建設の基本理念のもと、空港周辺の良い環境づくりが図られるよう取り組むとともに、泉州地域の均衡ある発展に向け、臨空都市圏にふさわしいまちづくりを進めてまいりました。

大阪府におかれましても、関西国際空港が国際ハブ空港として機能するよう、国際戦略的な視点に立って、機能強化に向けた事業推進に取り組まれるとともに、泉州地域の均衡ある発展に向けた地域整備と一層の環境保全を進められることが肝要であり、次の事項実現のため、格段の御配慮を賜りますようお願いいたします。

1. 国土交通省に対する要望事項について

当協議会は、本年度に太田昭宏国土交通大臣に対し、下記の6項目（詳細は巻末に添付）について要望活動を実施いたしました。

大阪府におかれましても、これらの要望内容の実現に向けて、国に対し積極的に働きかけられたい。

1. コンセッションについて

2. 航空ネットワークの充実について

3. 関西国際空港へのアクセス強化について

4. 関西国際空港全体構想の早期実現に向けての2期事業
の完全供用について

5. 関西国際空港を活かしたインバウンドの拡大について

6. 大阪国際空港について

2. 関西国際空港へのアクセス強化について

関西国際空港が、人・モノ・情報の交流拠点として優れた能力を発揮するためにも、大阪都心部とのアクセス時間の大幅な短縮が可能となる関空リニアをはじめとする高速鉄道の整備を早期に具体化するとともに、高速道路ミッシングリンクの解消や阪神高速道路信濃橋渡り線の早期竣工など高速道路網の充実について関係機関に働きかけられたい。

3. 関西国際空港関連地域整備の推進について

空港立地に伴う関連地域整備については、国の「関西国際空港関連施設整備大綱」及び大阪府の「関西国際空港関連地域整備計画」等に基づき、空港機能の十分な発揮と併せて地域の均衡ある発展を図る観点から、交通体系の整備をはじめ、南大阪湾岸整備事業、阪南丘陵開発事業等の諸施策が実施されてきたところである。

しかし、目標が十分に達成されていない事業もあり、今後においても、第二阪和国道及び泉州山手線の延伸をはじめとする道路・街路の整備、南海本線及びＪＲ阪和線の立体交差化の推進など、より一層の事業推進に努められたい。

特に、事業推進にあたっては、国庫補助事業として採択を受けられるよう支援されるなど、地元市町の行財政運営に影響が及ぶことのないように努められたい。

また、当協議会が取り組んでいる関西国際空港２期事業に対応した泉州地域振興支援策等について、円滑に運営できるよう、今後とも協力されたい。

4. 地域の活性化策について

地元泉州 9 市 4 町では、新関西国際空港株式会社と連携しながら、泉州地域の資源を活かした観光振興やスポーツツーリズムの振興を通じて、関空イン・関空アウトのインバウンドに取り組んでいるところである。

大阪府におかれても、地元市町の活性化に向け、次の事項について積極的な支援をされたい。

- (1) 国内外でのプロモーション活動をはじめ、地元市町が取り組む国際交流事業や深日港と淡路島の航路再生による関西国際空港を拠点とした南回りの大阪湾観光ルートの構築等、泉州地域の観光振興に資するよう積極的な支援策を講じるとともに、関係機関に働きかけられたい。
- (2) 地元市町の活性化を図るため、空港建設工事及び関連公共工事の発注、関連資材等の調達並びに空港関連従業員の雇用について、地元企業、住民が優先的に採用されるよう関係機関に働きかけられたい。とりわけ、若年層をはじめとする就職困難者の雇用促進が図られるよう働きかけられたい。

5. 環境保全・環境監視の強化について

関西国際空港の運用及び関連事業の実施に伴う環境への影響に関し、次の事項について格段の措置を講じるなど、環境保全対策及び環境監視に万全を期されたい。

- (1) 環境監視及び苦情処理体制の強化に取り組むとともに、地元市町及び地域住民への迅速かつ正確な情報提供並びに飛行経路逸脱及び高度違反への迅速かつ厳正な対処など、引き続き新飛行経路導入に伴う「環境面の特別の配慮」の確実な履行が図られるよう関係機関に働きかけられたい。
- (2) 空港アクセス鉄道である南海本線「ラピート」及びＪＲ阪和線「はるか」の騒音、振動等の対策について、引き続き関係機関に働きかけられたい。また、空港アクセス鉄道のダイヤ編成においては、各路線の分岐点である、南海「泉佐野駅」及びＪＲ「日根野駅」以南の利便性を確保するとともに、日常生活に支障をきたさないよう働きかけられたい。

6. 治安対策について

関西国際空港２期事業及び関連事業の実施に伴い、不法かつ過激な妨害、さらには交通問題が予想されるため、陸・海上における警備体制の確立について、関係機関と一体となって万全の方策を講じられたい。

泉州市・町関西国際空港推進協議会

会 長	高石市長	阪 口	伸 六
副会長	堺市長	竹 山	修 身
副会長	熊取町長	中 西	誠
監 査	泉南市長	竹 中	勇 人
委 員	和泉市長	辻	宏 康
委 員	泉大津市長	伊 藤	晴 彦
委 員	岸和田市長	信 貴	芳 則
委 員	貝塚市長	藤 原	龍 男
委 員	泉佐野市長	千 代 松	大 耕
委 員	阪南市長	福 山	敏 博
委 員	忠岡町長	和 田	吉 衛
委 員	田尻町長	原	明 美
委 員	岬町長	田 代	堯

関西国際空港の国際ハブ化の早期実現等を求める

要 望 書

平成26年11月

泉州市・町関西国際空港推進協議会

関西国際空港の国際ハブ化の早期実現等を求める要望書

平素は、当協議会の諸活動の推進に格段の御高配と御指導を賜り厚く御礼申し上げます。

これまで、地元泉州9市4町におきましては、「地域と共存共栄する空港づくり」という関西国際空港建設の基本理念のもと、空港周辺の良い環境づくりが図られるよう取り組むとともに、泉州地域の均衡ある発展に向け、臨空都市圏にふさわしいまちづくりを進めてまいりました。

昨年度、関西国際空港は、発着回数が約13.3万回、外国人旅客数も約496万人と過去最高を記録するなど、我が国における訪日外国人旅行者数1,000万人の達成に大きく貢献しました。また、成長著しいアジアの需要を取り込んでいけるよう、アジアを代表するLCC拠点空港をめざし、第3ターミナルビルの建設が決定しました。

今年度は、開港20周年という節目を迎え、発着回数と航空旅客数がいずれも順調に推移するとともに、4月に稼働したフェデックス北太平洋地区ハブによる国際的な物流拠点としてのプレゼンスも高まる中、関西国際空港は、国際ハブ空港としての機能の充実・強化に向け、新たなステージへと歩み始めています。

また、今後、2020年の東京オリンピック・パラリンピックやそれに続く関西ワールドマスターズゲームズの開催に向け、オールジャパンとして訪日外国人の受入体制を整えていくためには、関西国際空港が国際ハブ空港としてのポテンシャルを更に発揮することが必要であると考えています。そのためには、コンセSSIONを通じて、財務構造の改善や一層の国際競争力の向上と更なる航空需要の拡大を図るとともに、空港へのアクセス利便性を向上させることで、関西国際空港を真の国際拠点として再生・強化することが急務であります。

関西国際空港の機能強化は、地元泉州のみならず関西経済の活性化に繋がるものであり、泉州9市4町としましても、今後も関西国際空港との共存共栄のまちづくりを積極的に進めるとともに、コンセSSIONの実現に一層協力してまいりたい所存です。

国におかれましては、完全24時間運用が可能で広大な施設展開用地を有する関西国際空港を、首都圏空港と並ぶ我が国の国際ハブ空港にふさわしい国際競争力を備えた空港としてその機能を十分発揮できるよう、必要な施策・措置を講じていただきたく、次のとおり要望します。

平成26年11月11日

泉州市・町関西国際空港推進協議会
会長 阪口伸六

1. コンセッションについて

コンセッションの実施にあたっては、これまで築き上げてきた新関西国際空港株式会社と地元泉州9市4町との関係を十分踏まえ、地元市町に対して必要な情報提供を行うとともに、コンセッション実施後においても、空港運営権者と地元市町との円滑・良好な関係が維持されるよう、国としても引き続き適切な関与に努められたい。

特に、これまでの経緯を踏まえ、「環境面の特別の配慮」をはじめ、環境監視、飛行経路に係る協議及び環境保全の取組については、空港運営権者の下、適切に実施され、地元市町への説明責任が果たされるよう、国としても適切な関与に努められたい。

2. 航空ネットワークの充実について

関西国際空港が、関西への誘客促進と我が国全体の航空需要の拡大に資するよう、LCC拠点機能の強化及び就航誘致、欧米等中長距離直行便の拡充等による航空ネットワークの充実及び羽田線をはじめ国内主要都市路線の拡充等による際内乗継機能の強化に、国としても十分に配慮されたい。

また、関西国際空港に就航している航空会社、特にLCCの安定就航のため、操縦士等の養成・確保について、積極的な支援・協力を行われたい。

3. 関西国際空港へのアクセス強化について

関西国際空港が、人・モノ・情報の交流拠点として優れた空港機能を発揮するためにも、空港連絡橋の通行料金の恒久的低減化や大阪都心部とのアクセス時間の大幅な短縮が可能となる関空リニアをはじめとする高速鉄道の整備を国主導により早期に具体化されるとともに、阪神高速道路信濃橋渡り線の早期竣工を実現されたい。

また、空港機能の一層の充実及び防災機能強化の観点から、空港連絡南ルート of 早期具体化を図るとともに、幹線道路ネットワークの整備及び早期形成を図るための財源確保に向け積極的な取組を図られたい。

4. 関西国際空港全体構想の早期実現に向けての２期事業の完全供用について

国におかれては、関西国際空港計画時に地元に対し提示された３点セット（空港の全体計画・空港の環境アセス・周辺地域整備の考え方）を踏まえ、将来の需要動向等に迅速に対応できるよう２期事業の完全供用を図られたい。

また、地元市町に対し約した事項については、責任をもって確実に講じられたい。

5. 関西国際空港を活かしたインバウンドの 拡大について

地元泉州9市4町では、泉州観光プロモーション推進協議会を設立し、新関西国際空港株式会社と連携しながら、泉州地域の資源を活かした観光振興やスポーツツーリズムの振興を通じて、関空イン・関空アウトのインバウンドに取り組んでいるところである。

国におかれても、2020年、訪日外国人旅行者数2,000万人の実現に向け、観光ビザの緩和推進及び出入国審査場における混雑緩和やファーストレーン設置支援、ビジネスジェットの使用環境の整備等を一層推進されたい。

6. 大阪国際空港について

大阪国際空港については、関西国際空港の国際ハブ空港としての再生及び強化を阻害しないよう「関西国際空港及び大阪国際空港の一体的かつ効率的な設置及び管理に関する基本方針」に基づき運用することを空港運営権者に徹底されたい。

また、長距離国内線の扱いについては、関西国際空港の際内乗継機能への影響に十分配慮した上で、現行の運用を厳守されたい。

泉州市・町関西国際空港推進協議会

会 長	高石市長	阪 口	伸 六
副会長	堺市長	竹 山	修 身
副会長	熊取町長	中 西	誠
監 査	泉南市長	竹 中	勇 人
委 員	和泉市長	辻	宏 康
委 員	泉大津市長	伊 藤	晴 彦
委 員	岸和田市長	信 貴	芳 則
委 員	貝塚市長	藤 原	龍 男
委 員	泉佐野市長	千 代 松	大 耕
委 員	阪南市長	福 山	敏 博
委 員	忠岡町長	和 田	吉 衛
委 員	田尻町長	原	明 美
委 員	岬町長	田 代	堯